

四

聖地日光へ

つづく道

將軍家と庶民たちが目にした光景を辿る

とちぎ  
いにしへの  
回廊



歴史への  
しどない

ぶらり  
散策

歴史への  
しざない

# 聖地日光へ

## つづく道



宇都宮城周辺（『日光道中絵図』より） 絵図の宇都宮城には、将軍の宿泊地であることを示す金の印が付けられている（栃木県立博物館蔵）

関ヶ原の合戦に勝利した徳川家康は、全国支配の足がかりとして、江戸を起点とする五街道をはじめとする交通網を整備しました。そのひとつが日光道中です。

日光道中は、元和三（一六一七）年頃整備されました。「東照大権現」として家康が祀られている日光への將軍家の参拝は、天保二四（一八四三）年の十二代將軍家慶まで十九回実施されました。往きは日光道中を、帰りは脇街道のひとつ日光道中壬生通を利用しました。

また日光へ至る道として、日光例幣使道という脇街道がありました。この街道を利用して、日光東照宮へ金色の幣帛（神に捧げる物）を奉納するため朝廷から派遣されたのが「日光例幣使」です。この行事は、正保四（一六四七）年から慶応三（一八六七）年まで絶えることなく続けられました。その他、会津若松から今市に至る会津西街道は、会津藩の日光への参拝などに利用されていました。

これらの街道には日光杉並木が残り、その中を歩けば、当時の雰囲気を感じることができます。



東照宮 金御幣 朝廷から例幣使に託され東照宮の神前に供えた金の幣帛（鷹見泉石関係資料／国重要文化財／古河歴史博物館蔵）



百人組一手持行列武器雑形略記（部分） 天保の社参時、要所で警護にあたった百人組の武器一覧（栃木県立博物館蔵）



日光二荒山神社 (本殿)



日光山輪王寺 (三仏堂)



日光東照宮 (鳥居並びに陽明門)

【問(日光東照宮)】0288-54-0560【問(日光山輪王寺)】0288-54-0531【問(日光二荒山神社)】0288-54-0535【拝観時間(日光東照宮、日光山輪王寺)】(4~10月)8時~17時(受付は16時半まで)(11~3月)8時~16時(受付は15時半まで)【拝観時間(日光二荒山神社)】(4~10月)8時~17時(受付は16時半まで)(11~3月)8時~16時(受付は15時半まで)【駐車場】普通各500円【拝観料(日光東照宮)】大人(高校生以上)1300円(1170円)小・中学生450円(405円)【拝観料(輪王寺券<三仏堂・大猷院>)】大人(高校生以上)900円(810円)小、中学生400円(360円)【本社寺苑入園料(日光二荒山神社)】大人(高校生以上)200円、小、中学生100円※( )は35名以上の団体料金、宝物館、美術館等は別途料金必要

国指定史跡

### 日光二社一寺

ろ-3

「日光」を象徴する世界遺産

平成十一年(一九九九年)、「日光の社寺」として世界遺産に登録された。社寺のもつ威厳と品位そして自然景観のコントラストが特徴

日光市内 P O 有料 ii O

日光道中・日光道中壬生通・日光例幣使道

駐車場 P トイレ ii マップアイコン

国指定史跡

### 祇園城跡「小山御殿跡」

ろ-5

歴史の舞台となった徳川家ゆかりの地  
小山御殿は、元和八(一六三二)年、徳川将軍家による日光への参拜(日光社参)の際の休憩・宿泊所として祇園城の一角に設けられたが天和二(一六八二)年、古河藩によって解体された。

小山御殿広場/小山市中丸町一丁目 P O (小山市役所) ii O (小山市役所)

国指定史跡

### 小金井一里塚

は-5

74 431 849\*11

エノキとケヤキがむすぶ歴史の道しるべ

日光道中沿いにあり、江戸日本橋から三十二里(約八十六キロメートル)の地点につくられた。もとは一辺約十二メートルの方形だった。



下野市小金井4丁目

P X ii X

## 日光道中

### 宇都宮城跡

は-4

復元した関東七名城のひとつ

築城時期は不明だが、平安時代後期から鎌倉時代初期の頃と考えられる。江戸時代初期には、本多正純(まさすみ)による大改修を受け、本丸には将軍のための御殿が造られた。現在は公園として、櫓(やぐら)や土塁などが復元されている。

宇都宮城址公園/宇都宮市旭一丁目・本丸町 P O (宇都宮市役所) ii O (宇都宮城址公園清明館)

### 星頭山如来寺

ろ-3

歴代の徳川将軍家の位牌を祀る古刹

文明年間(一四六九~一四七七年)創建の浄土宗の寺院。東照宮を建てた際、三代将軍家光の宿泊所として壮大な御殿を境内に造らせた。

日光市今市 P O ii O



### 今市報徳二宮神社

ろ-3

二宮尊徳が静かに眠る鎮守の森

明治三十一年(一八九七)年創建。江戸時代後期の農政家・思想家である二宮尊徳を祀る。境内には二宮尊徳の墓所(県指定史跡)のほか、尊徳の遺品などを収蔵している二宮神社宝物館報徳文庫(入館料/三〇〇円)などがある。

日光市今市 P O ii O



国特別史跡

### 日光杉並木街道「杉並木公園」

ろ-3

### 並木寄進碑

ろ-3

往來を見守りつづけた歴史の証人

寛永二(一六二五)年、徳川将軍家三代に仕えた松平正綱(まつただいらまさつな)が熊野杉を植えたのがはじまり。日光道中・例幣使道・会津西街道をあわせて延べ約三十五キロメートルになる。栃木県で唯一、文化庁「歴史の道百選」に選ばれている。慶安元(一六四八)年、三街道の並木の起点と終点(日光山の表参道にある「世界遺産の碑」東側)に杉を植えた由緒を刻んだ寄進碑が建てられた。

日光杉並木街道

P O (杉並木公園/日光市瀬川) ii O (杉並木公園/日光市瀬川)



日光道中壬生通・日光例幣使道

県指定建造物

### 今宮神社

ろ-4

職人のまち鹿沼の総鎮守

天文三二(一五三三)年の創建。毎年秋には、五穀豊穡を祈る勇壮で美しい屋台行事が行われ、多くの人で賑わう。



鹿沼市今宮町 P O ii O



(木のふるさと伝統工芸館) (仲町屋台公園)



屋台のまち中央公園/鹿沼市銀座1丁目

P O ii O

【問】0289-60-6070【開館時間】9時~17時(入館は16時半まで)【休館日】月曜日(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始【入館料】一般200円(150円)高校、大学生150円(100円)小、中学生100円(50円)※( )は20名以上の団体料金

県指定建造物

### 磯山神社

ろ-5

あじさい二千五百株と杉が梅雨空に映える

永延二(九八八)年創建と伝わる。徳川将軍家に厚遇された。御神木の大杉と夫婦杉は市の天然記念物に指定されている。



鹿沼市磯町

P O ii O

### 壬生城跡

ろ-5

思川と黒川で守られた平地の城跡

室町時代中ごろ、壬生氏によって築かれた。四代将軍家綱までの日光社参(帰路)までは宿泊所として利用された。



壬生町城址公園/壬生町本丸1丁目

P O ii O

国指定史跡

### 壬生一里塚

ろ-5

街道を見守る歴史の道しるべ

日光道中壬生通沿いにあり、江戸日本橋から二十三里(約九十キロメートル)の地点につくられた。現在、西側の塚のみ残されている。



壬生町表町 P X ii X

74 576 501\*15

# ぶらり 散策

聖地日光の威厳を  
静かに語る  
由緒ある寺院

P 駐車場 H トイレ



下野市小金井1丁目  
たほうざんじげんじ  
**多宝山慈眼寺**

建久7（1196）年の創建。僧侶の  
学問・修行道場として知られていた。  
徳川將軍家による日光への参拝（日  
光社参）では昼食所として定められ  
ていた。

P O i O



下野市石橋  
**石橋山開雲寺**

宝亀12（781）年の創建と伝えら  
れる。徳川將軍家による日光への参  
拝（日光社参）の休泊所のほか、慶  
応4（1868）年には日光県の仮県  
庁がここで開設された。

P O i O



県指定  
建造物 鹿沼市北半田

**東高野山医王寺**

天平神護元（765）年、勝道上人（しよ  
うどうしょうにん）の創建と伝えられ  
る。日光東照宮陽明門の写しとも評  
される唐門（からもん）は、とりわ  
け優雅な佇まいを見せている。

P O i O

## 日光社参に関する出来事

（国内の主な出来事）

年代

徳川家康、征夷大將軍となり、江戸幕府を開く（1603年）  
徳川家康死去（1616年4月）

家康、朝廷から東照大権現の神号が贈られる（1617年）

日光東照社完成（1617年3月）、  
將軍秀忠の参詣（同年4月、將軍社参開始）

將軍秀忠が社参（1619年10月）

將軍秀忠が社参（1622年4月）

大納言家光が社参（1623年4月）

將軍家光が社参（1625年7月）

大御所秀忠・將軍家光が社参（1628年4月）

將軍家光が社参（1629年4月）

17世紀

將軍家光が社参（1632年4月：秀忠死去により選擇）

將軍家光が社参（1634年9月）

日光東照社の大造替工事、將軍家光が社参（1636年4月）

島原の乱（1637～38年）

將軍家光が社参（1640年4月）

將軍家光が社参（1642年4月）

朝廷より東照社に宮号が宣下され「東照宮」となる（1645年）

東照宮例祭に、はじめての例幣使派遣（1646年4月）

將軍家光が社参（1648年4月）

大納言家綱が社参（1649年4月）

將軍家光死去（1651年）

將軍家綱が社参（1663年4月）

紀州藩主吉宗、8代將軍就任。享保の改革に着手（1716年）

將軍吉宗が社参（1728年4月）

18世紀

將軍家治が社参（1776年4月）

天明の大飢饉（1782～87年）

老中松平定信の寛政改革はじまる（1787年）

19世紀

大塩平八郎の乱（1837年）

老中水野忠邦による天保の改革（1841年）

將軍家慶が社参（1843年4月：最後の日光社参）

ペリーが浦賀へ来航（黒船来航：1853年）

最後の例幣使派遣（1867年）

將軍徳川慶喜が大政奉還（1867年）

## 小山市立博物館

【所在】小山市乙女1-31-7

【問】0285-45-5331【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)第4金曜日、年末年始(12月28日～1月4日)特別整理期間(年1回、10日以内)【料金】無料(企画展開催時は有料)【駐車場】あり



## 宇都宮城址公園清明館

【所在】宇都宮市本丸町1-15

【問】028-638-9390【開】9時～19時【休】年末年始【料金】無料【駐車場】あり(公園南側、市役所駐車場)



## 鹿沼市郷土資料展示室 [鹿沼市文化活動交流館内]

【所在】鹿沼市睦町1956-2

【問】0289-60-7890【開】9時～17時【休】月(祝休日は開館)祝休翌日、年末年始【料金】無料【駐車場】あり



## 日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館

【所在】日光市今市304-1

【問】0288-25-7333【開】9時～18時(入館は17時15分まで)【休】月、祝休日(月曜の場合は翌日も休館)展示替え期間、年末年始(12/29～1/3)【料金】無料【駐車場】あり



## 栃木県立博物館

【所在】宇都宮市睦町2-2

【問】028-634-1311【開】9時半～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝日、県民の日の場合は開館)祝翌日(土日の場合は開館)年末年始、臨時休館日【料金】一般250円(200円)高校、大学生120円(100円)※( )は20名以上の団体料金 ※特別企画展時は別途特別企画展観覧料が必要 ※6月第2土、日曜日、県民の日(6月15日)文化の日は無料【駐車場】あり(栃木県中央公園)



## 壬生町立歴史民俗資料館

【所在】壬生町本丸1-8-33

【問】0282-82-8544【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月、火午前、祝休日(企画展開催時のみ開館)年末年始【料金】無料(企画展開催時は有料)【駐車場】あり(壬生町城址公園)



ありがたや、  
例幣使

例幣使たちは公家で参議という要職に就いていました。そのため、例幣使という任務は朝廷と幕府からの権威を背負っていました。しかし要職とは名ばかりで、例幣使の任務にあたった公家たちは決して裕福ではありませんでした。その権威を利用し、「入魂」と称して先々で金銭を強要していた話が伝わっています。また、奉幣の際

に引き取った前年の幣帛<sup>へいぼく</sup>を細かくきざんで「東照宮御神体」として配り、大名たちをはじめ道治や江戸の町で人気を呼びました。

こうした例幣使がもたらすとされたご利益は、例幣使が入浴した風呂の湯を飲むと病気が治る、あるいは例幣使に近寄っておくと大病にかからないなど、様々な迷信を生むこととなりました。



東照宮金幣 (群馬県立歴史博物館蔵)

【表紙写真:左上から】東高野山医王寺唐門／鹿沼市石橋町屋台彫刻(木のふるさと伝統工芸館)／観音堂(多宝山慈眼寺)／日光道中絵図(部分:宇都宮二荒山神社周辺)／追分地藏尊／(写真右最下部)日光杉並木街道

## 「とちぎいにしえの回廊」とは

古くから自然と人間とのかかわりを通じて、人びとの生活の中から生まれ、大切に守り伝えられてきた文化財。「とちぎいにしえの回廊」は、栃木県内に残る貴重な文化財を新しい視点で紹介することで、文化財という「宝」を知ってもらい、また新たな魅力を発見してもらおうプロジェクトです。

「とちぎいにしえの回廊」では、7つのテーマ(川と古墳、東山道<sup>とうさんどう</sup>、中世武士団、日光への道、近代化遺産、おくのほそ道、くらしと水)を設けました。本パンフレットは4番目「日光への道」をテーマとしたルートマップです。

また「とちぎいにしえの回廊」専用WEBサイトを開設しました。こちらでは県内の文化財やお祭り・伝統行事の開催情報などを随時提供しています。ぜひチェックしてみてください。



<https://www.inishie.tochigi.jp>

### 関係連絡先一覧

栃木県教育委員会事務局文化財課  
☎028-623-3424

小山市教育委員会事務局生涯学習課  
☎0285-22-9669

下野市教育委員会事務局文化財課  
☎0285-32-6105

宇都宮市教育委員会事務局文化課  
☎028-632-2768

日光市教育委員会事務局文化財課  
☎0288-25-3200

鹿沼市教育委員会事務局文化課  
☎0289-62-1172

壬生町教育委員会事務局生涯学習課  
(壬生町立歴史民俗資料館)  
☎0282-82-8544

### 写真提供・協力者 (敬称略)

アトリエ・ビーンズ／小山市立博物館  
／鹿沼市教育委員会／木のふるさと伝統工芸館／群馬県立歴史博物館／古河歴史博物館／栃木県立博物館／鹿沼市仲町屋台維持管理協議会／日光市教育委員会／日光市歴史民俗資料館／日光東照宮／日光山輪王寺／日光二荒山神社／壬生町立歴史民俗資料館

発行

栃木県教育委員会事務局文化財課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1-1-20

2014(平成26)年 3月 第1刷発行  
2015(平成27)年 7月 第2刷発行  
2018(平成30)年 3月 第3刷発行



どちぎ  
いにしへの  
回廊  
四

# 聖地日光へ つづく道



群馬県

茨城県

### 文化財を見るための注意

- ◆ここに掲載した文化財は、非公開のものや期間を限って公開されるもの、個人が所有するものがあります。見学可能か事前に確認しましょう。
- ◆見学をする際は安全に十分注意しましょう。法律で禁じられている場所への立ち入りはできません。
- ◆文化財の所有者・管理者、近隣の方々や他の見学者の迷惑とならないよう見学しましょう。
- ◆文化財やその周辺を汚したり、傷つけたりしないようにしましょう。
- ◆文化財の中やその周辺では、火気は使用せず、ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ◆このマップで取り上げている文化財の名称は通称を掲載しているものもあり、正式な文化財指定名称と必ずしも一致しません。

